



第九〇號
昭和二十年八月二十一日

廣島縣知事

内務省防空總本部長官
中國地方 總 監
第二總軍司令官
中國軍管區司令官
船 舶 司 令 官
吳鎮守府司令長官
廣島地區司令官
近 府 縣 知 事
廳内各 部 長
各警察消防署長

殿

八月六日廣島市空襲被害並対策
措置ニ関スル件 (詳報)

(八月二十日現在)

八月六日管下廣島市ニ於テ發生セル空襲被害
並ニ対策措置ニ関シテハ屢報、通リナルガ之ガ取締
メシタルノ左記ノ通ニ有之候條此段及報告(通報)
候也

追而廳内各部長並ニ警察消防署長ニ在リテハ前
後対策ノ資料ニ供セラルルベシ

記

第一概要

敵機、空襲ハ五大都市ニ引キ續キ中小都市ニ移行シ其ノ來襲機數、反數ニ於テ頻度ヲ加ヘツ、アリタル又独リ廣島市ノミハ本年三月十九日艦上機ニヨリ四月三十日ヨリ一機ニヨル各小規模ナル空襲アリタルノ外被害ナカリシ又大規模空襲ヲ豫想シ急速且徹底セル人員並ニ建物疎開ヲ計畫、昨秋着手來順調ナル進捗ヲナシ既ニ第六次疎開實施中ナリレモニシテ本空襲ハ特異トスル強力ナル新型爆彈ノ使用セラレタルト空襲時刻ハ警報解除ナリシコト、出勤時刻ナル為市外居住者ノ多數入込ミアリタルコト及ビ疎開作業ノ為義勇隊、学徒隊、出勤アリテ其ノ被害ハ他都市ノ空襲ニ比シテ甚大且慘虐ナルモノアリテ救護救

援容易ナラス

第二 敵機未襲時刻並ニ狀況

八月六日災害前後ニ於ケル廣島縣ニ對スル防空警報ハ

第一回

- 〇X.〇九 警戒警報發令
- 〇X.三一 警戒警報解除

第二回

- 一一.一八 警戒警報發令
- 一一.二三 警戒警報解除

ニシテ第一回警戒警報下敵B29四機ハ縣下ニ侵入シ内ニ機ハ廣島市西北方ヲ旋回後周防灘ニ出テ南方ニ脱去、二機ハ本縣中角部忠海村

近ヲ旋回後備後難ヨリ南方ニ脱去 中國軍管區
内ニ敵機ナレトシツセ 三一警戒警報解除 四十五
分ヲ經過シタルハ一六頃突如敵B29四機廣島
上空ニ潜入旋回後落下傘付「ウラビエ」ハ原子
爆彈ヲ投下南方ニ脱去セルモノ如シ

第三 投下彈ノ種類及性能

ノ種類及數量

「ウラビエ」ハ原子爆彈一―三個詳細不明ナルヲ落下傘
ニヨリ曳下シ空中 五―六百米上空ニ於テ炸裂スル新
兵器ト推定サル

ノ性能

詳細不明ナルモ「ウラビエ」ハ原子爆彈極メテ高性
能ヲ有スル新兵器ニシテ空中ニ於テ炸裂「ウラビエ」ハ

放射ニ能シタル者ハ半径ニ料ノ範圍ニ於テ強度ノ
火傷ヲ受ケ爲ニ白血球ハ遂次減少セシムル作用ヲ有シ
居ルモノ如シ

第四 氣象狀況

一 空襲直前

晴天 南風ニ米位 高雲少量

視程 一五―二〇料

二 空襲直後

晴天 南風セ―八米 局部的ニ風速一〇―五米

ニシテ且旋風起ル

尚火災ノ延焼中 市内中央部一帯ニ少量ノ驟雨
兩アリテ 西北部ニハ局部的ニ相當多量ノ驟雨
アリ

四特殊施設、被害

種別	全	燒	半	燒	全	燒	半	壞
中國總監府								
廣島縣庁								
中國軍需監理局								
廣島市役所								
中國海運局								
廣島控訴院								
廣島地方裁判所								
廣島區裁判所								
廣島鐵道管理局								
廣島通信局								
廣島驛								
廣島貯金局								
廣島賦務局								
廣島郵便局								
廣島駅前郵便局								
西警察署								
東消防署								
西消防署								
廣島國民勤勞勸導署								
廣島稅務署								
廣島營林署								
地方鑛山監督局 <small>廣島支局</small>								
廣島文理科大学								
廣島商工專門學校								
廣島女子專門學校								
廣島工業專門學校								
中等學校 七校								
廣島高等學校								
中等學校 八校								
國民學校 六校								

廣島地方專賣局

宇品警察署
東警察署分署

第六 空襲対策

一 縣防空本部

八月六日廣島縣廳、災害ニヨリ焼失ト共ニ縣防空本部、一時市内北谷山多開院ニ八月七日市内下原所東警察署ニ移轉シ、更ニ八月二十日市内向洋東洋工業ニ移轉シ、本格的事務ヲ開始セリ。

二 根本対策並ニ運営

今次空襲、特種大規模ナルト第二總軍司令部中國地方總監府等、重要機關相連絡ノ要アリト思料セルル、ヲ以テ八月七日第二總軍ニ於テ軍官主務部相謀リ、大塚總監、戦死セラレタルニヨリ臨機、措置トシテ第二總軍司令官ガ廣島市、警備復旧ニ関レ、廣島縣知事及廣島市長在廣島陸海軍

ヲ區處スルコトニ決定、即日之カ權限ハ船舶司令官ニ委讓セラレ八月十六日ヨリ更ニ中國軍管區司令官ニ繼承、災害復興警備、指揮ニ任シ、毎日定例連絡會ヲ開催復旧、緩急順位其、他諸対策、討議ヲナシ復旧活動ハ終始一貫全機關秩序ニ統制、下ニ處理ト得ラレタルセト思料ス。

三 知事告諭

非人道極マル特種爆彈、使用ニ依ル本空襲ノ影響ハ大ニシテ一般民心ノ動搖ヲ防止シ以テ米鬼撃滅、聞魂ヲ振起、戦災復旧ノ完遂ヲ期スヘク八月七日別添、通リ廣島市民ニ対シ告諭ヲ發シタルガ尚船舶司令官又亦市民ニ布告ヲ發シタリ。

第七 防空機関ノ活動狀況

一 一般狀況、本空襲ニヨリ廣島市内警察署ニ於ケ

此警察官ノ死者三七名傷者五九名行衛不明二四名
 計一三〇名消防署員死者三九名傷者二四七名行衛
 不明六四名計二五〇名ノ又的被害ヲ蒙リ、廣島縣
 警備隊亦九九名、被害ヲ受ケ地元警防團ノ殆トカ
 被害者シテ救護、救援復旧等之カ防空機關ノ機
 能機能極度ニ弱体化シ、罹災地域外、郡部方面
 應援ニヨル、外オキ實情ニテリタルニヨリ即刻警察
 官及警防團ノ應援ヲ命ジ警備、救護、救援、復
 旧等ニ從事セシメタリ

警察官警防團應援並出勤狀況

月	日	警察官	警防團	備考
八月七日		一九〇	二一五九	主トシテ道路修補、救護、死体処理
八月八日		一五九	一五二八	主トシテ救護並、死体処理
八月九日		一四一	一四七七	
八月十日		一四〇	二〇〇二	
八月十一日		一二〇	一四二五	
八月十二日		三六	六〇八	西署官内ノ死体處理ヲ總行 其他ノ救護救恤
八月十三日		三三	六二八	
八月十四日		三九	六五一	
八月十五日		三一	六八四	主トシテ救恤作業ニ從事ス
八月十六日		二八	五九九	
八月十七日		三一	四七九	
八月十八日		三四	四九九	
八月十九日		三〇	四五〇	
八月二十日		三一	四四七	
合計		一〇四三	一三六四六	

三 特設防護團並ニ家庭隣保班ノ活動状況

今次空襲ノ特異性ヨリシテ地域内居住者ノ殆ト人
殺傷カレ一部人命救助等アリタル外其ノ活動見
ルベキモノナシ

四 國民義勇隊ノ活動並ニ活動状況

廣島市内居住民ノ災害ニヨリ活動不能固圀郡
部方面ヨリ多数ノ義勇隊ノ活動ハ指揮命令
系統等ヨリシテ容易ナラサルニ付總テ
警防團ヲシテ之ニ當ラシメ義勇隊ノ活動ナレ

半

第八軍 支援並活動狀況

在廣軍部隊 広島市民 同様の人的 損傷被害甚大ナリシモ
 船舶司令官 広島警備担任司令官トテ 左記ノ通り警
 備地区ヲ 設定 船舶司令部ヲ 始メ 広島地区司令部
 其他在廣全部隊ヲ 基テ 警備並 戦災復旧ノ 処
 置ニ 當リ

警備地区	地区司令部
東地区	丹那橋東詰
中地区	藝銀本店
岸品地区	船舶司令部
西地区	住吉橋東詰

第九 救護ノ 狀況
 一 一般狀況並對策

広島市中ニ 於テ 医療救護機關 食糧配給所 及 要員ハ
 殆ど災禍ニ 依リ 機能ヲ 失ヒ 且 多数ノ 死傷者ト 罹災
 者 發生ニ 等ハ 災害ト 共ニ 周辺被害地域外ニ 遂次 離散
 傾向ニ 示ルヲ 以テ 先ツ 屍体ノ 処理 傷病者ニ 對スル 医療
 罹災者ノ 食糧配給ノ 迅速ヲ 圖ルニ 決定シ 之ガ 要員ハ
 八月六日 直々ニ 可部 海田市 警察署ヲ 通ジ 管下 警
 察官 全 医療救護班 及 警防団ノ 非常召集ヲ 実施セリ

二 救恤

(1) 罹災者ノ 措置
 本空襲ニ 特異トシテ 罹災者中 同居家族ノ 死傷者 多数
 アリテ 被害發生後ハ 之ガ 搜索ノ 為メ 市及 周辺ヲ 徘徊
 スル 罹災者 多ク リシモ 市内 残存 家屋ハ 総テ 全半 壊壞
 シ 収容力 極メテ 僅少ナル 關係上 主トシテ 郡部 方面ノ 全
 縣下 知已 縁故者等ニ 分散ノ 措置ヲ 執リタルモ 一部ニ 於

于燒跡ニ假小屋ヲ建テ又ハ防空壕内ニ於テ生活ヲナスモノアリテ之ガ善後措置ノ為メ各地ニ戰災者相談所ヲ開設救済ノ万全ヲ期シテリ

④食糧其他ノ既給
食糧其他生活必需品ノ既給ニ関シテハ既給機關ノ裁能序止セル為メ災害發生後六日間ニ亘リ近接警備署ヨリ握飯ノ非常炊出ヲ以テ為サレルト共ニ其ノ間手詰塩沃履梅干燻干トシテ草履塵紙等ヲ適宜配給シ同月十日ヲ期シテ通常配給ニ切替ヘ食糧營日配給所十七ヶ所(従来ノ學校區別)食糧品組合配給所十六ヶ所ヲ各新設整備シ概テ八月十五日ニ業者可休ニ依リ配給ヲ實施中ニシテ所積ナル遺構ヲナシ現在迄既給セル主タル物資左

通りナリ

品名	数量	品名	数量
米(食乾)	一三〇万食	釜	若一干
味噌	一五樽	鍋	若一干
醬油	二ノ丁	野菜	一三〇〇〇〇量
口リク	八四〇二本	煙草	二四〇〇〇本
沃庵	七下	蒲扇	二〇組
塩昆布	八〇量	塵紙	一〇組
佃煮	二八打	缶詰	二四九六個
塩	三六〇〇打	草履	一〇〇〇〇打
燻寸	一四〇〇打	夕ヨル	四八〇〇枚
練粉	五二七個	牛乳	六〇〇〇〇本
海苔	一三〇〇〇〇枚	卵	五〇〇〇個
梅干	八樽		
軍手	若一干		
毛巾	三〇〇〇〇枚		

此天ノ多ク積マズトハ治療ノ徹底ヲ欲シ困難伴ヒタリ

署名	收容割當	署名	收容割當
十日市署	一〇〇〇〇	竹原署	一〇〇〇〇
大竹署	一〇〇〇〇	西條署	一〇〇〇〇
河津署	一〇〇〇〇	河内署	五〇〇〇
吉田署	五〇〇〇	吉田署	五〇〇〇
三次署	一〇〇〇〇	三次署	一〇〇〇〇
庄原署	一〇〇〇〇	庄原署	一〇〇〇〇

防疫

空襲後傳染病ノ發生ニ就キハ極力警戒中ナルカ現在這ニ
 發生セル傳染病患者次ノ通リニ目下一般罹災者又
 市周辺地ニ於ケル散在的患者ノ發生ノ虞アリテ警戒
 ナスト共ニ之等病原ノ蔓延撲滅ニ関シテハ万全ヲ期シ

救護所名	病名	發生患者數	備考
日赤病院	赤痢	五	
進信病院	"	三一	
大河国民学校	"	五	
十二高女校	"	二	
比治山国民校	"	三	
靖方五三九部隊	"	八〇	
宇品船舶運量會	"	二	
船舶練習部	"	二	
大竹国民学校	"	二	
大野国民学校	"	一	
江波野戰病院	下痢	一八八	腸炎七五 流脂 三 赤痢 一四一
宇高通信局	赤痢	一	

吉島神洲七五二五協	赤痢	=	
已斐国民学校	"	三	
草津国民学校	"	二	
其他川内田上校 船岡各町村	"	六	
計		四一三	

(丙)罹災患者ノ措置經過

本空襲ニ依ル患者中、重傷者ハ原則トシテ救護所ニ收容
 輕傷患者ハ自宅又ハ縁故先ヨリ通院治療ヲ受ケ居ル
 天近親者知已等ノ行衛不明者、捜査ノ為メ救護所
 患者ヲ捜シ廻ル者多ク、之ガ便宜ヲ圖ル為メ救護
 所病院其他要所ニ患者名ヲ掲示閱覽セラルル外
 患者名簿ヲ作成、課庁及市内警察署ニ備ヘ閱覽
 セシメ尚患者ノ收容所ヲ引取人ニ知ラシムル為メ軍部

月二〇、〇〇〇枚通信局ヨリ四〇、〇〇〇枚計六〇、〇〇〇枚ノ
 郵便葉書ノ供與ヲ受ケ各救護所ニ配布家族トノ連
 絡通信ニ資シタリ

四 屍体処理

屍体処理ノ如何ハ罹災者ノミナラズ一般民衆ニ及ボシ影響
 至大ナルモノナリ且夏季腐敗期ニ相當シ最モ迅速ナル処
 理ヲ要スルモノナリ以下初日以来軍並ニ警察警防団
 ノ全力ヲ集中シテ之ガ処理ニ當リ八月十日全般作業ヲ一應
 了切、各部分的処理ニ入リ現在マテニ判明セルモノ

- (一) 警察隊同ノ処理数 一七、八六五人
- (二) 軍部隊ノ処理数 一、二〇五四人
- (三) 其他市外ニ避難シ死セラルモノ 三、〇四〇人

合計

前記(一)(二)ハ何レモ市内現場ニ於ケル死者ニシテ埋棄甚ニ

火葬場ニテノ処理困難ナルヲ以テ現場各所ニ於テ火葬ニ
附シ近親者縁故者市役所等ニ引渡シテ了シタルモ
尚家屋建物等ノ倒壊下敷トナリ發掘困難ナルモノ
或ハ重傷者中死亡者續出シ居ルヲ以テ今後死者
數相當多數ニ上ルモノト思料セラル

五 援護

(一) 迷子ノ処置

急激ナル空襲ニ遭遇シ多數ノ迷子ナリテ引取人等モナキヲ
以テ西條町外方所ニ收容所ヲ設置シ取取ル市內比治山
國民學校並ニ迷子ヲ收容シ張札其他ニヨリ一般ニ周知セシメ
居ルモ現在尚收容者六〇名ナリ

(四) 郵便貯金拂出並ニ保険相談

廣島郵便局並ニ驛前郵便局ニ於テハ左ノ通リ八月十四日
ヨリ市內五ヶ所ニ簡易保険郵便貯金ノ相談所ヲ開設

各種相談ニ應スルノ他現金ノ支拂ヲ開始其他宇宙局
外特定郵便局ニ於テモ同様之カ相談ニ應ジワアリテ
一般ニ好影響ヲ與ヘ居レリ

廣島驛前
下柵町縣庁前
進信局 前

廣島市役所
貯金支局内

(六) 銀行方面

市內銀行業者十二銀行ハ被害發生翌日ヨリ日本銀
行ノ広島支店ニ集合拂出其他ニ應シ居ルモノカ利用
者七日一名八日三名十五日四名十六日九名等
遂次増加シ居ルモ尚一般ノ周知徹底ヲ欲ス銀行側ノ期

待ニ及シ居ル狀況ニアリ

第一、警備治安

一、一般民心ノ動向

他都市ノ空襲ニ比シ慘虐極ル空襲ニシテ罹ル者

受害地ヘノ出入者等ハ空襲ノ悲惨ナルヲ現認シ一時

民心ハ極度ニ畏怖動搖悲觀的觀測ヲナスノ悲アリ

タルモ時日ノ経過ト共ニ次第ニ安定軍都復興ヘノ氣運

又驕敵撃滅ノ戰意ハムレヨリツキタル狀況ナリ

二、警備狀況

右廣軍部隊ニ於テ市内橋梁其他重要場所ヲ警備

ニ任スルノ外警察隊周ニ於テモ市内周辺部四ヶ所

ニ檢問所ヲ設置管下警察署ニ指令シ戰災処

理ニ不用人物ノ入市ヲ抑制他面燒跡並ニ罹災

地域内防犯警戒ニ當リツキナルモ現在迄ニ發生檢

査セルモノ左ノ通り

一、広島市吉島町 口外 正一 當三十二年

戰時窃盜 空役 十年判決

二、広島市富士見町 烟迫 政雄 當三十五年

事務員 戰時窃盜 空役 十年判決

三、人心安定ニ對スル措置

罹災直後報道班ヲ動員シ口傳報道、壁新聞等ヲ以テ戰

況被害狀況、救護狀況、當局ノ方針等逐次發表民心、

安定ト士氣ノ昂揚ヲ圖ルト共ニ大阪、福岡及松江所在

ノ新聞社ニ連絡當分ノ間計ニ于テ万部宛應援ヲ受ケ既

チ付シツキアリ 高流言ニ關シ未發ノ事案ニ對シテハラジ

ク新聞紙ノ掲載等ニヨリ防止スルト共ニ既發事

案ニ對シテハ極力之ヲ粉砕スル等人心ノ安定ニ努メタル
結果檢査セラルカ如キ惡質流言等ノ事象ナシ

四、刑務所囚人並ニ留置人ノ措置

廣島空襲必至下市内警察署ニ於ケル留置人等ナク
廣島刑務所ニ當時囚人六〇名アリ死者四三名
重傷一五二名 行衛不明一名ノ人的被害發生セルモ
現在損壞建物ヲ修理シ收容ナレ居ル

第十一 應急復旧ノ状況
一 鐵道關係

1. 被害狀況

(1) 人的被害

死	傷	者	行方不明	計	備
四一	四六	五九	一四六	現 在 出 勤 率	考

(2) 車輛被害

種別	燒失	破損	備
汽関車			
客車	六		
貨車	一一	六三	破損充實車ニ何モ修理使用可能
電車	六		廣瀨線

(3) 建物被害

全燒	大破	中破	小破	計
一八棟	六棟	三棟	一棟	二八棟

2. 輸送狀況

鐵道被害ハ廣島、横川、巴、雙、驛等建物又車
輛被害ハ大ナリシニ鐵道線路ノ被害僅少ナリ
ニモ軍官一、八五〇名出動、應急処理ヲナシ八月八
日ヨリ上下線共全線開通運行ヲ開始セシメ上水道圧
力低下シ汽関車へ給水不如意ニシテ消防署自働
車ポンプヲ應援セシメ補水スル等極力輸送ノ保持
ニ努メアリカ三十分乃至一時間ノ遅延ヲ招来セシム

3. 軌道關係

1. 被害
2. 人的被害

従業員總數	死亡	負傷	行方不明	備
一、一九九	七	二五〇	五九	考

(四) 物の被害

種別	全壊	焼失	破損	備
本館、建物の母屋、 本館、地	八棟			考
車輜	二四	一	六三	一階下受電所ハ復旧不能 目下可動車輜三六輛

又復旧状況

本館、龍臺、依山線路被害僅少ナルヲメ、全會社工
作隊及軍隊一五〇名ヲ派シ、徒七〇名ノ應援ニ
依リ復旧ニ着手セルカ、復旧状況左ノ通リ

月日	復旧状況
八月七日	宮島線全通
八月八日	自三波至音間 片側車輜開始

八月十四日	已復旧ヲ滿リ、東小畑所向片側通車開始
八月十八日	復旧ヲ滿リ、宇品間片側通車開始、一日中二面側通車開始
八月(未定)	白島線及依山線ヲ除キ、片側通車開始、見込ニシテ、稻荷橋、鉄橋 ノ復旧見込未定、進歩連絡

三 通信関係

1. 遞信電話

(1) 被害状況

廣島市内電話加入者總數ハ、九、六〇〇名ニシテ、
約九割、ハ、八、六〇〇ノ電話焼失シ、残存僅カニ
一、〇〇〇ニ過ズ、加フルニ、遞信高ヲ始メ、市中失火及
西分室ノ電話局共ニ、建勿施設ヲ全焼シ、遞信
部ハ、従業員ノ被害ハ、甚、通リニシテ、相方ノ打撃
ヲ受ケ、甚レリ

名稱	及之	重傷	輕傷	行方不決	計	備考
逓信局	一五	一一四	一八六	九	三三〇	
中央電話局	三二	一五	一五〇	一〇三	三〇〇	
廣島電話局	三五	二六	一	一四	七六	
廣島郵便局	一〇〇	一〇		八八	〇〇	
廣島支隊局	五	五		〇	〇	
廣島支隊局	五	五		〇	〇	
廣島支隊局	五	五		〇	〇	
廣島支隊局	五	五		〇	〇	
廣島支隊局	五	五		〇	〇	
計	二〇〇	一八八	九六	八五九	一六四五	

回復用状況

此表は直後より復用ニ着手シ

市外電話

現在重要長公署 三十一ヶ所 十七日回復、重要度ニ

應じ第一次に一七〇名 復用ニ着手シアリ

市外電話

現在迄、西条、呉、廣田、三次、大野、大竹、柳井、五日市、大改、岡山、尾道、山口、下関、宇部、復用

間通アリ

廣信 呉、廣田、由通ニ別ニ西条、三、無糸電話機ノ設

備アリ

又、逓信局電話並ニ情報連絡

現在、縣廳事務所、安藝郡、赤松町、東洋工業、株式會社、心ニアリ、本格復用工事、困難ナルノ下ニ、特ニ、監視情報等、回復セリテ、最ニ急遽、十一日復用ヲ要スルヲ以テ、八月七日直ニ工事ニ着手

八月八日

川縣廳——警察署署間一回線
向縣廳——上下警察署間一回線

八月九日

川縣廳——加計、世田、市邊警察署間一回線

川縣廳——可部、西警察署間一回線

復旧之儀リ縣下右警察署間防盜監視哨間

連絡十二得レト、ナリ情報連絡ニ支障ナク近

ク縣廳移轉ト共ニ本工事ニ着手ノ事ニテ

四、配電關係

中國配電株式會社、去八月十日第一回在東京

被害ヲ受ケ又本堂在東京ニ遭過レ本社支店及電

業高、何レモ全燒レ從業員之 六〇名中ニ五〇

名ノ死傷行方不明アリタル事市段、三條

ノ被害亦一、部損壞程度ナリニ為會社關係

從業員一〇名乃至一五〇名、他多ク五〇名

乃至一〇〇名ノ應援ニ依リ復旧ニ着手ニ市ハ

南赤也送電行被害ハ輕微ニテ八月七日

送電東部也送電行被害ハ輕微ニテ八月七日

兵水道關係

今次空襲ニ於テ一般施設ノ被害ニ及レ水道ノ被

害輕微ニテ市ハ右施設泉屋ノ破壞全燒レ

テ漏水著レク市水道關係者軍部及警察

工作隊等ニ依リ漏水ヲ防止シ市ハ中央部ハ送水

ノ必要ナキニ付テ送水ヲ停止シ目下周辺地区ニ送

水中ナルニテ地下漏水多ク水压ノ失害前ニ復旧

セシムルニ飛去困難ヲ予想セラル
六 報道関係

在廣新聞社ハ中国新聞社ナルガ従業員之ハ
名中死者一〇名負傷行方不明等ハ〇名ア
リテ理由出勤者〇〇名ハ焼除建機等ニ於テ
執務中ナルモ機能焼失ノ爲災害發生ト共
ニ大敗ヲ毎日朝日新聞 六万部西部
合十五万部計三十一万部ノ應急輸送ヲ受テ
山口、廣島縣下ニ配布中
會社ニ在リテハ四社災則ニ三十万部ノ發行ヲナシ
飛下管下午藝部過品社ニ高速轉機又
附屬設備ヲ疎閑一面日中ニ印刷機等ノ予定ニ
アルカ目下ノ能力トシテハ災害前ノ復歸ニ困難
ナリト思料セラル

七 工場事業場

本災害ニ依リ前掲ノ海ノ市ハ工場ノ大部分ヲ喪
失シ残存重要工場ハ日本製鋼所、東洋工業
三菱造船所、三菱機軸、宇治造船所、三菱工作
機軸等ナルモ、何レモ大小ノ被害ヲ蒙リ且従業員
又家族ノ被害ヲ受ケ悉クテ日本製鋼所ハ八月
七日ヲ揮共休業開始、出勤率〇%三菱造船、三菱
機軸共ニ八月十六日迄休業共率十%復旧ニ着
手一部揮業開始セリ 出勤率十%ナリ

第十八 罹災者及被害者調査施設ノ被害並対策

一 被害者
（一）罹災者
災害表ト同時ニ人員被害ノ大ナルト推察スル

表見、其一、機、火、失、最、應、食、及、除、腐、建、物、全
 燒、最、警、急、部、全、燒
 四、派、之、各、所、防、署、者

署名	全燒	半燒	程度	半壞	破損	備考
東邊警察署						
合出駐在所	六		一			
西邊警察署	一					健在 七
合出駐在所						
山下警察署						
合出駐在所			一			
東消防署	一					
合出駐在所	三					
西消防署	一			三		
合出駐在所	四					

計	二四	一	四	九	六	
---	----	---	---	---	---	--

四、消防本部
 (別表第二通り)

第十三、最、應、警、急、消、防、官、吏、四、性、災、狀、免

一、逃、言、急、消、防、官、吏、殉、職、者、及、負、傷、行、方、不、明、者

(別表第四通り)

二、最、應、警、急、殉、職、並、負、傷、行、方、不、明、者

一、一〇	×	五	七	二	六	七	五	二	七	健在者	二	五	四	者
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---

三、逃、言、急、消、防、官、吏、家、族、並、家、族、二、度、一、四、性、災、狀、免

逃、言、急、消、防、官、吏、家、族、被、害、調

逃言急消防官吏	家族	被	害	調
三六	五四	七	七	四
一	三	二	一	一
五	八	八	八	八
×				×

二對策
山縣廳

八月六日災害発生ト共ニ以テ山縣廳ニ假防室本部
ヲ置テ八月七日市山下柳町東邊ニ警署ニ移転シ
更ニ八月十日安藝郡社中町東洋工業株式會
社ニ移転セリ
同致ニ警署消防署

署名	移転又ニ防室本部	備	キ
東邊警署	市山下柳町(現在通)		
西邊警署	横川町三日島信用組合		
安藝警署	市山下三日島町(元之倉)		
東海防署	市山下三日島町(元之倉)日本赤十字會 分工場ニ移転ス		
西海防署	市山下三日島町(元之倉)天幕後 リ級方倉ニ移転ス		

第十七 其他

本廳警署ニ依リテ市山下城町ノ人形物致 船山甚大ニ
シテ地元警署防因 特設防護團等、派員見ル
ベクモナク 特ニ援護復旧作業、中心ヲナスベク、広島
市役所ニ總欠一、二〇〇名 中相高、死傷者アリタ
ルヲメテ 勤僅カ 八〇名 程度ニシテ 甚ニ 概能充
揮シ得ズ 最モ一 並軍團依諸 務團ニ於テ 直接
処理シツル 状況ナリ

告 諭

今次ノ災害ハ慘惡極マル空襲ニヨリ吾國民戰意ノ破碎ヲ圖ラントスル敵ノ謀略ニ基クモノナリ、廣島縣民諸君ヨ、被害ハ大ナリト雖モ之戰爭ノ常ナリ、斷ジテ怯ムコトナク救護復舊ノ措置ハ既ニ着々ト講ゼラレツツアリ、軍モ亦絕對ノ援助ヲ提供セラレツツアリ、速ニ各職場ニ復歸セヨ戰爭ハ一日モ休止スルコトナシ

一般戰民諸君モ亦暖カキ戰友愛ヲ以テ罹災者諸君ヲ勞リ之ヲ鼓舞激勵シ其ノ速カナル戰列復歸ヲ圖ラレタシ

今次災害ニ際シ不幸ニモ相當數ノ戰災死者ヲ出セリ、衷心ヨリ哀悼ノ意ヲ表シ、ソノ冥福ヲ祈ルト共ニ其ノ仇敵ニ酬ユル道ハ斷乎驕敵ヲ擊碎スルニアルヲ銘記セヨ、吾等ハアクマデモ最後ノ戰勝ヲ信ジ凡ユル難苦ヲ克服シテ大皇戰ニ挺身セム

昭和二十年八月七日

廣島縣知事 高野源進

第一表

醫療救護班出勤勤表

八月十八日現在

月日	救護班別	醫師	齒科醫師	准醫師	看護婦	計
八月十六日	救護班	五七	四九	二〇	八四	一一二
八月十七日	救護班	八三	一五	一〇	一〇八	一一〇
八月十八日	救護班	三二	二五	二〇	七七	九四
八月十九日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十一日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十二日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十三日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十四日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十五日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十六日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十七日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十八日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月二十九日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八月三十日	救護班	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
計		三六〇	六四	七三	八八	五七九

註
 除外國救護班、山口島根島取、岡山、兵庫各隊、應援訓練所受、

第二表

消防本部
被火害状況

計	消防事務所	西消防署	東消防署	署 区 分
二 九	一	一 八	一 〇	全焼
三			三	半焼
二		二		大破
二		五	二	小破
四 一 一 三	一	二 五	一 五	計
				現 存 率
		七	六	

第三表(一)

職員關係被害

計	高島國	區勤勞	島岡署	評名	
				死	傷
1				7	死
10	1			傷重	地方事務
1				傷輕	明不
2				明不	7
4	2			7	死
8	7			傷重	屬(機務部)
6	4			傷輕	明不
7	3			明不	7
3	3			7	死
6	5			傷重	屬其他
10	6			傷輕	明不
11	5			明不	7
7	5			7	死
15	11			傷重	計
17	10			傷輕	
22	18			明不	

第三表(三)

消防職員被害狀況表

計	消防署	消防署	消防署	別署部分	
				消防士	消防長
2		1	1	1	死
3		1	2	1	者
8		5	3	1	生死不明
13		4	9	1	重傷
15		1	5	1	輕傷
1					計
1					死
1					者
1					生死不明
1					重傷
1					輕傷
1					計
1					死
1					者
1					生死不明
1					重傷
1					輕傷
1					計
1					死
1					者
1					生死不明
1					重傷
1					輕傷
1					計

JAPANESE
ATOMIC BOMB REPORT
FOR THE CITY OF
HIROSHIMA, JAPAN

Made by the
GOVERNOR
HIROSHIMA PREFECTURE
21 August 1945

Translation of Japanese Document

SECRET

(Translation of Japanese Document)

SECRET

Defense #91

21 August 1945

FROM: Governor, HIROSHIMA Prefecture

TO: Chief of Air Defense, General Headquarters, Ministry of Home Affairs

Inspector General, CHUGOKU District

Commander, 2nd General Army

Commander, CHUGOKU Army District

Shipping Commander

Commandant, KURE Naval District

Commander, HIROSHIMA Sector

Governors, Neighboring Prefectures

All Prefecture Bureau Chiefs

Chiefs, Police and Fire Departments



Damage sustained from the air attack against HIROSHIMA on 6 August and counter measures taken. (Detailed Report).

(As of 20 August 1945)

There have been frequent accounts of the damage sustained from and counter measures taken against the air attack on the city of HIROSHIMA on 6 August. The following is a comilation of these accounts, which we feel can be reported at this time.

In the future, data for counter measures will be furnished by the

SECRET

chiefs of all prefecture bureaus and the chiefs of the police and fire departments.

REPORT

I SUMMARY

Even while enemy air attacks continued against the five large cities (of Japan), attacks against medium and small cities were being made with increasing frequency and with increasing numbers of planes being used. The city of HIROSHIMA had suffered no damage other than that sustained from the small scale attacks of a single B-29 on 30 April and carrier-based planes on 19 March of this year. However, anticipating large scale air attacks, plans had been begun last autumn for expeditious and thorough evacuation of personnel and closing of buildings, and satisfactory progress was being made with the 6th phase of evacuation already having been entered.

Losses resulting from the 6 August attack, when compared with those suffered by other cities, were very much more devastating and rescue and relief operations more difficult because the attack occurred after the all clear had been sounded; the bomb was of a new, especially powerful type; it was during working hours with many people living outside the city present; and volunteer and school units were mobilized to carry out evacuation operations.

II TIME AND CONDITION OF ENEMY AIR ATTACK

Air raid alerts in HIROSHIMA prefecture immediately preceeding and following the disaster on 6 August:

Alert # 1

SECRET

0709 - Air raid alert sounded

0731 - All clear sounded.

Alert # 2

1118 - Air raid alert sounded.

1203 - All clear sounded.

During alert #1, four B-29's penetrated the prefectural area. Two of the planes, after circling to the northwest of HIROSHIMA, withdrew to SUONADA and then headed south, while the other two planes circled over the ocean area to the south of the prefecture and then withdrew southward from BINGONADA. At about 0816, 45 minutes after the air raid alert had been lifted at 0731 with no enemy planes in the CHUGOKU Army District, four B-29's suddenly advanced into the area over HIROSHIMA and, after circling, dropped (an) "uranium" atomic bomb(s) attached to parachutes, and withdrew to the south.

III TYPE AND CAPABILITIES OF THE BOMB(S) DROPPED

1. Type and Quantity. One to three "uranium" atomic bombs were dropped but details are unknown. However, it is presumed, because of the parachutes, that it was a new weapon fused to explode at 500 to 600 meters in the air.

2. Capabilities. Although details are unknown, the "uranium" atomic bomb is an extremely powerful new weapon and persons within a radius of two kilometers who are exposed to the "uranium" radiation in the air are very badly burned, causing a gradual reduction of their white blood corpuscle count.

SECRET

IV WEATHER CONDITIONS

1. Directly Preceding the Air Attack.

Clear

Southerly winds of about two meters.

High ceiling.

Small amount of clouds.

Visibility - 15 to 20 kilometers.

2. Following the Air Attack.

Clear

Southerly winds of seven to eight meters. In localities a velocity of ten to fifteen meters was reached with occurrences of whirlwinds.

While the fire spread, there were light showers throughout the central portion of the city with fairly heavy showers in localities in the north-western part of the city.

V DAMAGE STATUS

Personnel Losses. Since the disaster occurred during the daytime, there were many people entering and leaving HIROSHIMA for reasons of labor, travel, work, etc. and thus the total loss of personnel in HIROSHIMA at that time was large. Although the following are casualties as determined up to the present, the personnel losses were so great that they include only accountable deaths and those burned and sick patients who have subsequently died. However, if those who have been buried by collapsed houses and buildings and those who are unrecognizably burned to death are included, it is estimated that the figure would exceed 60,000.

Deaths	32,959
Seriously injured	13,965

SECRET

SECRET

Slightly injured 43,517
Missing 29,591
Homeless 193,459

2. Materiel Damage.

Building Damage

Completely Burned 55,000
Partially Burned 2,290
Totally Destroyed 6,820
Partially Destroyed 3,750
Total 67,860

3. Damage to Transportation Facilities.

	<u>Completely Burned</u>	<u>Partially Burned</u>	<u>Totally Destroyed</u>	<u>Damaged</u>	<u>Total</u>
Trains	27	-	-	63	90
Trolleys	24	-	-	63	87
Pumper Autos	31	4	2	7	44
Pass. Autos	8	-	-	-	8
Trucks	112	-	-	10	122
Horse Carts	100	-	-	-	100
Bridge Crossings	-	-	3	-	3

4. Damage to Special Establishments.

PUBLIC OFFICES

Completely Burned

CHUGOKU Inspector General's Office

SECRET

SECRET

HIROSHIMA Prefectural Office
Inspector's Bureau, CHUGOKU Military Stores
HIROSHIMA City Hall
CHUGOKU Maritime Transport Bureau
HIROSHIMA Court of Appeals
HIROSHIMA District Courthouse
HIROSHIMA Section Courthouse
HIROSHIMA Railway Superintendent Bureau
HIROSHIMA Communications Bureau
HIROSHIMA Station
HIROSHIMA Savings Bureau
HIROSHIMA Finance Bureau
HIROSHIMA Post Office
HIROSHIMA EKIMAE Post Office
West Police Station
East Fire Station
West Fire Station
HIROSHIMA National Labor Mobilization Bureau
HIROSHIMA Revenue Office
HIROSHIMA Forestry Bureau
HIROSHIMA Branch, Bureau of Regional Mining Control

Partially Burned

HIROSHIMA Monopoly Bureau

Partially Destroyed

UJINA Police Station

SECRET

SECRET

East Police Station (minor Damage)

SCHOOLS

Completely Burned

HIROSHIMA University of Literature and Science

HIROSHIMA Higher Normal School

Technical Section, HIROSHIMA Girl's School

14 Middle Schools

18 Grammar Schools

Totally Destroyed

HIROSHIMA Industrial School

7 Middle Schools

Partially Destroyed

HIROSHIMA Junior College

HIROSHIMA Girl's Technical School

8 Middle Schools

6 Grammar Schools

IMPORTANT COMPANIES

Completely Burned

CHUGOKU Newspaper Co.

HIROSHIMA Broadcasting Station

HIROSHIMA Branch, DOMEI News Agency

HIROSHIMA Branch, Japan Electric Co.

CHUGOKU Electric Company

HIROSHIMA Branch, Bank of Japan

HIROSHIMA Branch, SUMITOMO Bank Co.

HIROSHIMA Branch, TEIKOKU Bank Co.

SECRET

SECRET

GEIBI Bank Co. (Main Office)
HIROSHIMA Branch, People's Savings Bank
HIROSHIMA Branch, Japan Transportation Co.
Automobile Distribution Co.
12 Theaters and Playhouses
TOYO Can Co.
HIROSHIMA Gas Co. (and Works)
TOYO Light Metal Industries
OBASHI Industries

Totally Destroyed

HIROSHIMA Trolley Co.
ASAHI Munitions Co.
Aircraft Storage
CHUGOKU Paint Co.
TEIKOKU Munitions Co.
FUJIKAWA Steel Company
CHUGOKU Electric Co. Works

Partially Destroyed

TEIKOKU Rayon Co.
MITSUBISHI Machine Co.
MITSUBISHI Shipbuilding Co.
TOYO Industries

Remaining completely and partially burned	6,028 Factories
Victims	26,420
Remaining totally and partially destroyed	1,056 Factories
Victims	34,317

SECRET

MISCELLANEOUS

Completely Burned

Imperial Headquarters Building

HIROSHIMA Castle

GOKOKU Shrine

SANYO Memorial

HIROSHIMA Prefectural Hospital

HIROSHIMA Communications Bureau Hospital

HIROSHIMA Railroad Hospital

Totally Destroyed

HIJIYAMA Rest Room

VI COUNTER MEASURES AGAINST AIR ATTACK

1. Prefectural Air Defense Headquarters. The destruction by fire of the prefectural office was a result of the 6 August disaster and consequently the air defense headquarters was moved temporarily to the TAMON Building in HIJIYAMA and on 7 August was transferred to the East Police Station in GEHYOMACHI. On 20 August it was again moved to TOYO Industries on the outskirts of the city where regular duties were resumed.

2. Basic Counter Measures and Operations. Because of the especially large scale of air attacks, it was thought necessary to maintain close liaison between the more important administrative organizations such as 2nd General Army Headquarters and Inspector General's Office of CHUGOKU District. On 7 August the Military Planning Board met together at 2nd General Army Headquarters and, as a temporary measure necessitated by the death of Inspector General OTSUKA, the Commander of the 2nd General Army

SECRET

decided to divide the restoration of the city of HIROSHIMA defences between the Governor of HIROSHIMA Prefecture, The Mayor of HIROSHIMA City, and the remaining army and navy forces in the city of HIROSHIMA. Authority over this was immediately assigned to the shipping commander but on 16 August was partially delegated to the Commander of the CHUGOKU Military District. Their duties included the restoration of damaged areas and direction of defences. They have held daily liaison conferences for discussion of the urgency and order of restoration work and various other counter measures. Thus it is believed that the work of restoration can be successfully managed under an orderly, representative administration.

3. Governor's Proclamation. The effect of this air raid, which utilized a special type extremely inhuman bomb, was tremendous. On 7 August, I issued a proclamation to the people of HIROSHIMA in which I attempted to stop the restlessness of the people's hearts, to arouse a spirit to destroy utterly the American devils, and to bring to completion the work of restoration of war damage. The shipping commander has also issued a statement to the people of the city.

VII ACTIVITY OF AIR DEFENSE ORGANIZATIONS.

1. General Conditions. As a result of this air attack, the HIROSHIMA Municipal Police Department incurred 37 dead, 59 wounded, and 24 missing, or a total of 120 casualties. In the fire department there was a total of 250 casualties with 39 dead, 147 wounded, and 64 missing. The Guard Unit of HIROSHIMA Prefecture suffered a total of 99 casualties; the local Civilian Defense Corps almost 100% casualties. The functions of the air defense organizations were rescue, assistance and restoration. As these were extremely weakened, we found ourselves in a situation in which all

SECRET

we could do was to rely upon aid from the sub-prefectures outside of the afflicted area. We immediately requested police departments and civilian defense corps in these districts to come to our assistance for guard work, rescue, aid, repairs, etc.

2. Status of Mobilization and Assistance from Police Departments and Civilian Defense Corps.

<u>DATE</u>	<u>POLICE</u>	<u>CIVILIAN DEFENSE CORPS</u>	<u>REMARKS</u>
7 Aug.	190	2,159	Mainly opening up of roads, rescue, and disposition of bodies.
8 Aug.	159	1,528	Mainly rescue and disposition of bodies.
9 Aug.	141	1,477	Mainly Rescue and disposition of bodies.
10 Aug.	140	2,002	Mainly rescue and disposition of bodies.
11 Aug.	120	1,425	Mainly rescue and disposition of bodies.
12 Aug.	36	608	West Police Station Officers continued with disposition of bodies. Remainder engaged in rescue and aid.
13 Aug.	33	628	"
14 Aug.	39	651	"
15 Aug.	31	684	"
16 Aug.	28	599	Mainly Carried out Rescue work.
17 Aug.	31	479	"
18 Aug.	34	499	"
19 Aug.	30	450	"
20 Aug.	31	447	"
GRAND TOTAL	1,043(man days)	13,636(man days)	

SECRET

SECRET

3. Status of Activity of Auxiliary Protective Associations and Neighborhood Home Units. An unusual feature of this air attack was the almost total loss of life among people living in the district. Consequently no activity was seen other than a few people engaged in rescue work, etc.

4. Status of Mobilization and Activity of the National Volunteer Units. A result of the disaster was that normal activity of people living in the city of HIROSHIMA was impossible. The mobilization of volunteer units in large numbers in the surrounding GUN areas was difficult due to the chain of command and also there was no activity on the part of National Volunteer units. All work was carried out by the Civilian Defense Corps.

VIII STATUS OF ACTIVITY AND SUPPORT BY MILITARY FORCES.

As personnel and material losses of the citizens of HIROSHIMA and military forces stationed in HIROSHIMA were extremely great, the SHIPPING Commander, acting as Commander of the HIROSHIMA defense unit, established guard sectors as follows and, beginning with the Shipping Headquarters, he assembled all forces, such as HIROSHIMA District Headquarters, for defence and repair of war damage.

GUARD DISTRICTS

East District

Central District

UJINA District

West District

DISTRICT HEADQUARTERS

TANIN Bridge - East End

GEIBI Bank - Main Branch

Shipping Headquarters

SUNYOSHI Bridge - East End

IX STATUS OF RELIEF

1. General Conditions and Counter-Measures. As a result of the disaster, the ability to give medical treatment, distribute food, and mobilize personnel in the city of HIROSHIMA almost completely disappeared.

SECRET

Also there was a large number of dead and homeless. This, together with the disaster itself, caused a tendency to disperse to nearby areas outside the damaged section. Therefore, it was planned to expedite the disposition of bodies and the distribution of medical supplies for the sick and wounded and food for the victims. To call up personnel for this, contact was made immediately on 6 August with the police stations at KABE and KAITAICHI, requesting them without fail to assemble police and all medical relief groups and Civilian Defense Corps under their jurisdiction.

2. Relief.

a. Disposition of disaster victims. An unusual feature of this air attack was that there was a large number of homeless who, after the attack, wandered about the devastated area searching for members of their families who had been killed or injured. Since all of the houses remaining in the city were either entirely or partially destroyed, housing accommodations were extremely limited. Therefore it was arranged to have people disperse to relatives and acquaintances throughout the rural areas of the Prefecture.

However some of the people constructed small, temporary dwellings in the ashes and rubble or lived in the air raid shelters. Therefore, as a relief measure, information bureaus were established where victims were assured aid.

b. Distribution of Food, etc. Because of the stoppage of the mechanisms for distributing food and other commodities necessary for life, for a period of six days following the disaster, emergency rations of rice-balls, canned goods, salt, pickled radish, pickled plums, matches, candles, straw sandals, toilet paper, etc. were obtained from nearby

SECRET

police stations. Beginning 12 August, this was changed to normal rationing with 16 cooperative and 17 commercial food ration offices, the latter occupying former schools. By 15 August almost all rationing was being conducted by commercial bodies. Amounts of main commodities rationed at the present time are as follows:

<u>ARTICLE</u>	<u>AMOUNT</u>
Rice (including dried Bread)	130,000 Meals
Bean Paste	15 Barrels
Soy Sauce	2 Cho
Candles	8,402
Radish Pickles	7 Cho
Salted Greens	80 Kan
"Taukudani" (food boiled in soy)	28 Dozen
Salt	3,600 Kilograms
Matches	1,400
Powdered Milk	527 Boxes
Seaweed	130,000 Pieces
Pickled Plums	8 Barrels
Military Gloves	Small Amount
"mompe" (Women's National Utility Garment)	3,000 Pairs
Boilers	Small Amount
Pots	Small Amount
Vegetables	12,000 Kan
Cigarettes	2,400
Bedding	20 Sets
Canned Goods	249,600 Cans

SECRET

<u>ARTICLE</u>	<u>AMOUNT</u>
Straw Sandals	10,000 Pairs
Towels	21,800
Milk	6,000 Bottles
Eggs	500

c. Medical Treatment.

(1). General conditions and counter-measures. At the very time when there was a large number of patients, (mostly burn patients), the number making up HIRO-SHIMA first aid organizations was decreased as follows:

	<u>ON HAND</u>	<u>VICTIMS</u>
Doctors	298	270
Dentists	152	132
Herb Doctors	140	112
Nurses	1,780	1,654

Although these people are not included in the victims listed in this publication, since they also suffered the loss of having their houses destroyed, it was impossible for them to engage immediately in first aid work. Therefore, the chiefs of KAITAICHI AND KABE West Police Stations were immediately contacted and orders given them to mobilize and dispatch the first aid squads under their jurisdictions. Beginning with the arrival of the TOYODA GUN first aid squad on 6 August at the TAMON Building, HIJYAMA, first aid stations were

SECRET

located strategically throughout the city. On 7 August, 33 first aid squads under the jurisdiction of the prefecture; 5 squads from OKAYAMA Prefecture, assistance from SHIMANE, TOTTORI, HYOGO, and YAMAGUCHI Prefectures arrived and began diligent first aid work. (Status of first aid squad activities is given in Appendix #1).

- (2). Medical supplies. Since about 85% of the stored medical supplies had been evacuated the amount destroyed by fire within the city was comparatively small and these medical supplies stored at HATSUKAICHI, SAIJO, SENO, YAGI, AND HIJIYAMA, could be brought out in small amounts and used immediately. However, a shortage gradually developed, since the number of patients exceeded all expectations.
- (3). Medical treatment. Directly after the disaster only immediate, on-the-spot first aid was administered. Later patients were gradually taken in at the public schools and other points within the city where medical treatment was administered. Approximately 15,000 patients being cared for by the shipping headquarters and other military organizations were, due to the pressure of the situation, all gradually taken over by the prefecture where medical treatment was given. Since there were so many patients badly burned and injured, it was

SECRET

eventually impossible to administer adequately even minimum medical treatment.

<u>NAME OF STATION</u>	<u>NUMBER TAKEN IN</u>
HATSUKAICHI	1,000
ŌTAKE	1,000
KABE	1,000
KAITAICHI	500
HIRO	500
TADANOUMI	1,000
TAKEHARI	1,000
SAIJŌ	1,000
KŌCHI	500
YOSHIDA	500
MIYOSHI	1,000
SHŌBARA	1,000

- (4). Prevention of Epidemics. Ever since the air attack we have maintained the strictest alert against the possible outbreak of communicable diseases. The following is a list of patients who have contracted infectious diseases up to the present time, and we fear a general outbreak of cases scattered among the homeless and in districts adjacent to the city. We are not only maintaining precautions, but also eliminating any further growth of the source of these diseases.

SECRET

<u>NAME OF FIRST AID STATION</u>	<u>NAME OF DISEASE</u>	<u>NO OF PATIENTS CONTRACTING THE DISEASE.</u>	<u>REMARKS</u>
Japan Red Cross Hospital	Dysentery	5	
Communications Hospital	Dysentery	31	
OGAWA Grammar School	Dysentery	5	
#2 Girls High School	Dysentery	2	
HIJIYAMA Grammar School	Dysentery	3	
Medical Unit #198389	Dysentery	84	
UJINA Shipping Board	Dysentery	2	
Shipping Training Bureau	Dysentery	22	
OTAKE Grammar School	Dysentery	2	
OMACHI Grammar School	Dysentery	1	
EBAMACHI Military Hosp.	(see remarks)	189	75 Typhoid Fever 3 Influenza 110 Dysentery 1 Other
UJINA Communications Bureau	Dysentery	1	
YOSHISHIMA, JINSHU Factory #2715	Dysentery	2	
KOI Grammar School	Dysentery	3	
KUSATSU Grammar School	Dysentery	2	
Besides these the towns and villages of KAWAUCHI, KUCHITA, HESAKI, and TADASONO	Dysentery	64	
TOTAL		418	

(5). Final Disposition of Disaster Patients. Of the patients resulting from this air raid, as a general rule the severely injured were cared for at the first

SECRET

aid stations while the slightly injured came from their own residences or relatives homes to the hospitals to receive medical treatment. In order to eliminate searching among the patients at the first aid stations, hospitals, and other places of treatment for missing friends and relatives, the names of patients were publicly listed. Also a register of the names of the patients, was made up and turned over to police stations within the city and prefecture, for display. In order to inform people when to come and take charge of patients at the first aid stations, a total of 60,000 post cards- 20,000 from Military Headquarters and 40,000 from the communications bureau - was obtained and distributed to the various first aid stations where they were used to communicate with the families of the patients.

d. Disposition of Corpses. The disposition of bodies was something of vital concern not only to the homeless but also to the general public. As it was summer with its accompanying putrefaction, the greatest speed in the disposal of corpses was necessary and, beginning the first day, military units, police, and civilian defense corps assigned their entire strengths to the disposition of bodies. On 11 August all general operations were temporarily suspended and all out work on the disposition of bodies was begun. The following is an estimate of activities to date.

(1). Number disposed of by police organizations	17,865
(2). Number disposed of by military units	12,054

SECRET

(3). Number of those who escaped to areas outside the city and later died.	3,040
TOTAL	32,959

The figures given in the preceding headings (1) and (2) are all bodies found dead on the spot. As bodies could not be disposed of in graveyards or crematories, they were cremated on the spot and the remains turned over to relatives, friends, or the city hall. Since it was impossible to dig out bodies buried under collapsed houses or buildings and deaths are still imminent among fatally injured, a considerable increase in the number of known dead is expected.

e. Relief.

(1). Disposition of Stray Children. Due to the surprise nature of the air attack, a large number of stray children resulted; quarters for them were set up in the town of SAIJŌ and 6 other places, while immediate shelter was given them at HIJIYAMA Grammar School.

Although this has been publicized by posters, etc., there are still 60 children being cared for.

(2). Payment of Postal Savings and Information On Insurance. On 14 August ordinary insurance and Postal Savings Information Bureaus were established as follows in five places by the HIROSHIMA and EKIMAE Post Offices, where all types of information were supplied and cash payments begun. This is also being carried out in the same manner at the UJINA

SECRET

Post Office and at special post offices. This generally has had a good effect on moral.

By HIROSHIMA EKIMAE Post Office.-

HIROSHIMA EKIMAE

In front of the Prefectural Office in GEHYOMACHI.

In front of the Communications Bureau.

By HIROSHIMA Post Office

HIROSHIMA City Hall

Inside Branch of the Postal Savings Bank.

- (3). Banks. The day after the disaster occurred the employees of the twelve banks in HIROSHIMA assembled in the HIROSHIMA Branch of the Bank of Japan and started making payments, etc. However, although the number of private transactions gradually increased with 1 on the 7th, 33 on the 8th, 460 on the 15th, and 900 on the 16th, it is evident that this service is not yet generally known. This condition is contrary to the expectations of the bank.

X GUARD AND PUBLIC WELFARE

1. General Trends of Popular Sentiment. When compared with air raids on other cities, this air attack was extremely cruel. The homeless and the people entering and leaving the damaged areas bore uppermost in mind the miserableness resulting from this attack. For a time public opinions was very disquieted and we feared an agitated and pessimistic attitude would be adopted. However, as the days passed, public feeling gradually

SECRET

became stabilized and a determination to restore the military to normal and a fighting spirit has taken its place.

2. Status of Guard. Military forces in the city of HIROSHIMA were assigned guard duty at bridges and other important points within the city. Besides this, military inspector posts (Kenmonjo), which had command over the police stations in the areas under their jurisdictions, were established in four places on the outskirts of the city. They kept out persons not essential to the repair work in damaged areas and policed other burned and destroyed districts. The following are arrests that have been made up to the present time.

a. YOSHISHIMA-MACHI, City of HIROSHIMA

KUCHIMITSU, SEIICHI - Age 23 years, Prison Guard.

Sentence: 10 years at hard labor - Theft in time of war.

b. FUJIMIMACHI, City of HIROSHIMA

HATASEMA, MASAO - Age 35 years, Office Worker

Sentence: 10 years at hard labor - Theft in time of war.

3. Measures Taken to Stabilize Public Feeling. Directly after the disaster information groups were organized and news of the war situation, damage status, condition of relief, this office's policy, etc. was gradually disseminated by means of word of mouth and posted newspapers. By this means we planned to revive morale and stabilize public feeling. We are also, for the time being, distributing a total of 210,000 copies of newspapers received from newspaper companies at ŌSAKA, FUKUOKA, and MATSUE. As a precautionary measure to hold rumors in check, radios and newspapers are used, while rumors already in circulation are controlled as quickly as possible. In this way we are stabilizing public sentiment, arresting evil rumors, etc.

SECRET

4. Management of Prisoners and Persons In Custody. At the time of the air attack on HIROSHIMA there were no persons in custody in the police stations within the city. However, there were 600 prisoners in HIROSHIMA prison. Of these 42 died, 152 were severely injured, and 1 missing. At the present time the damaged buildings have been repaired and prisoners are being admitted.

XI STATUS OF EMERGENCY RESTORATION

1. Railroads.

A. Damage Status

(1). Personnel Losses

<u>Dead</u>	<u>Injured</u>	<u>Missing</u>	<u>Total</u>	<u>Remarks</u>
41	46	59	146	Present Percentage back at work - 80%

(2). Damage to Rolling Stock

<u>TYPE</u>	<u>DESTROYED BY FIRE</u>	<u>DAMAGED</u>	<u>REMARKS</u>
Engines	-	-	-
Passenger Cars	6	-	-
Freight Cars	21	63	All damaged freight cars can be repaired
Electric Cars	6	-	HIROHAMA Line

(3). Damage to Buildings

<u>Totally burned</u>	<u>Severely damaged</u>	<u>Medium damage</u>	<u>Slightly damaged</u>	<u>Total</u>
18	6	3	1	28 bldgs.

b. Status of Transportation. Damage to transportation con-

SECRET

sisted mainly of severe damage to rolling stock and to the buildings at HIROSHIMA, YOKOGAWA, and KOI stations. There was only minor damage to tracks, and with emergency repairs made by 1,850 mobilized military personnel, all tracks above and below the city were opened up to traffic beginning 8 August. It was difficult to supply steam engines with water since water pressure at the upper water main had dropped, so water was supplied with the aid of fire department pumper trucks. The utmost endeavor was put forth to maintain transportation, nevertheless, there is still a delay of from 30 minutes to one hour.

2. Trolleys.

a. Damage

(1). Personnel Losses.

Total number of employees 1,199
Dead 72
Injured 250
Missing 59

(2). Material Losses

<u>TYPE</u>	<u>COMPLETELY DESTROYED</u>	<u>DESTROYED BY FIRE</u>	<u>DAMAGED</u>	<u>REMARKS</u>
Bldgs at main office, attached factory, etc.	8	-	-	-
Generator Plants	-	1	1	YAGURASHITA Generator plant cannot be repaired.
Rolling Stock	-	24	63	At present 36 cars can be operated.

SECRET

b. Status of Restoration. The damage to streetcar tracks resulting from this air raid was slight and repairs were begun with the aid of 150 men from military and company repair units and 70 students. The following is the status of restoration.

<u>DATE</u>	<u>STATUS OF RESTORATION</u>
7 Aug.	Lines to HIROSHIMA completely cleared
8 Aug.	Traffic begun on 1 track between KOI and KANNON
14 Aug.	Traffic begun on 1 track from KOI to HIGASHI-KOAMICHŌ and TEMMAGAWA.
18 Aug.	Traffic begun on 1 track between main office and UJINA. Traffic will begin on both tracks in a couple of days.
31 Aug. (EXPECTATION)	Expect to be cleared for traffic on all lines except SHIRASHIMA and HIJIYAMA lines. However, connections are made by walking across SHŌKABASHI trolley bridge since it cannot be repaired.

3. Communications.

a. Telephone System.

(1). Damage Status. The total number of subscribers to the HIROSHIMA City Telephone System was 9,600. About 8,600 or approximately 90% of the telephones were destroyed by fire, leaving less than 1,000. Equipment within the communications building and Central and Western Telephone Exchanges was completely destroyed by fire. The Department of Communications suffered a severe blow with personnel losses as follows:

<u>NAME OF BUREAU</u>	<u>DEAD</u>	<u>SERIOUSLY INJURED</u>	<u>SLIGHTLY INJURED</u>	<u>MISSING</u>	<u>TOTAL</u>	<u>REMARKS</u>
Communications	25	114	186	9	334	
Central Telephone Ex.	32	15	150	103	300	

SECRET

<u>NAME OF BUREAU</u>	<u>DEAD</u>	<u>SERIOUSLY INJURED</u>	<u>SLIGHTLY INJURED</u>	<u>MISSING</u>	<u>TOTAL</u>	<u>REMARKS</u>
HIROSHIMA Telegraph Office	35	26	1	14	76	
HIROSHIMA Post Office	100	12	-	288	400	
HIROSHIMA EKIMAE Post Office	5	5	-	440	450	
HIROSHIMA Railroad Post Office	5	5	18	1	29	
Transmission Training Station	-	6	30	-	36	
UJINA Post Office	-	5	11	4	20	
TOTAL.....	202	188	396	859	1,645	

(2). Status of Restoration. Recovery work was begun immediately after the disaster occurred.

- (i) Telephones within the city.-The first phase of restoration is the resumption of service for the 21 important public offices remaining, carried out in order of importance. This is scheduled to be completed by 170 men within 17 days.
- (ii) Telephones outside the city.-At the present time service has been resumed to SAIJŌ, KURE, HAMADA, MIYOSHI, ŌNO, ŌTAKE, YANAI, ITSUKAICHI, ŌSAKA, OKAYAMA, ONOMICHI, YAMAGUCHI, SHIMONOSEKI, and UBE.

SECRET

- (iii) Telegraph.-Service has been resumed to KURE and HAMADA. Also there is a separate wireless telegraph set to SAIJŌ.

b. Police Telephones and Intelligence Liaison. Since the prefectural office is at present located in the TŌYŌ Industrial Company, FUCHŪMACHI, AKIGUN, complete restoration work has been impossible. But utmost speed was necessary in restoration because of connections with supervisory intelligence and work was begun immediately on 7 August.

8 August

- (1). 1 circuit between the prefectural office and MIHARA Police Station.
- (2). 1 circuit between the prefectural office and JŌGEMACHI Police Station.

9 August

- (1). 1 circuit between the prefectural office and KAKE and HATSUKAICHI Police Stations.
- (2). 1 circuit between the prefectural office and KABE West Police Station.

By means of this restoration work, liaison between all police stations and anti-aircraft lookout posts under the jurisdiction of the prefecture was made possible. With this intelligence liaison regular work can begin without difficulty when the prefectural office is moved in the near future.

4. Electric Power. The CHŪGOKU Electric Company suffered damage from the first air raid last 30 April. As a result of the 6 August attack, the branch of the main office and the Electricity Bureau were completely destroyed by fire. Of 600 employees, 250 are dead, injured,

SECRET

or missing. Since the DAMBARA and MISASA Generator Plants within the city were only partially destroyed, repair work was begun on them with 100 to 150 company employees, aided by 50 to 100 other workers. Damage to power stations in the southern part of the city was very slight and electric power was available beginning 7 August. Power will soon be supplied to the eastern section and vicinity.

5. Water Supply. When compared to damage sustained from this air attack to equipment as a whole, damage to water service was very slight. However, due to the collapse and destruction by fire of installations and buildings within the city, numerous leaks broke out. Employees of the City Water Department, military personnel and emergency repair units managed to hold the leakages in check. Since there was no necessity for supplying water to the central portion of the city, the water supply was turned off. At present water is being supplied to the neighboring districts but, because of the large number of underground leaks, we believe that it will be rather difficult to restore the water pressure to its pre-disaster level.

6. News. The only newspaper company in HIROSHIMA was the CHUGOKU Newspaper Company. Of 280 employees, 100 were killed and 80 injured or missing. At present, although 100 persons are at work in the burned out building, the newspaper has lost its ability to function because of damage by fire. As a relief measure we are receiving a total of 210,000 copies of the ASAHI Newspaper, 60,000 being sent from ŌSAKA and 150,000 from Western Japan, which are being distributed throughout YAMAGUCHI and HIROSHIMA Prefectures.

SECRET

Prior to the disaster the company published a total of 30,000 papers. A high speed rotary press with attachments has been evacuated to UNBIN MURA in AKIGUN and printing will begin in a few days. However, it is our belief that it will be impossible to restore the present capacity of the newspaper to its pre-disaster level.

7. Factories and Industries. As has been previously listed, the major portion of the factories within the city was destroyed by this disaster. The major factories remaining are NIPPON Steel Company, TŌYŌ Industrial Company, MITSUBISHI Shipbuilding Company, MITSUBISHI Machine Company, UJINA Shipbuilding Company, and MITSUBISHI Machine Tool Company. Nevertheless, all of these companies incurred some damage; also there were losses among employees or their families. As a result there was only 20% attendance when NIPPOE Steel Company began operating on 7 August. Although both MITSUBISHI Machine Company and MITSUBISHI Shipbuilding Company closed up through 16 August, only 70% of the employees reported for work when they began repairs, with parts of the plants on an operating basis on 17 August.

XII DAMAGE TO AND POLICIES ADOPTED BY POLICE AND PREFECTURAL ORGANIZATIONS

1. Damage.

a. Prefectural Office. Besides heavy personnel losses resulting from the air attack, the prefectural office, attached buildings, and prefectural police station were totally destroyed by fire, because the fire truck pumping equipment could not operate.

b. Police and Fire Stations.

SECRET

<u>Name of Station</u>	<u>Completely burned</u>	<u>Half Burned</u>	<u>Totally destroyed</u>	<u>Half destroyed</u>	<u>Damaged</u>	<u>Remarks</u>
East Police Station					1	
East Police Sta. Police Boxes	6	1				7 remaining
West Police Station	1					
West Police Sta. Police Boxes	8				1	
UJINA Police Station					1	
UJINA Police STA. Police Boxes			1	2	3	
East Fire Sta.	1					
East Fire Sta. Branch Stas.	3			3		
West Fire Sta.	1					
West Fire Sta. Branch Stas.	4		3	4		
TOTAL	24	1	4	9	6	

c. Pumper Trucks. (Given in Appendix #2)

2. Policies Adopted.

a. Prefectural Office. The temporary air defense headquarters set up in the TAMON Building on 6 August was moved to the East Police Station in GEHYŌMACHI on 7 August. Finally on 20 August it was transferred to the TŌYŌ Industrial Company in FUCHŪMACHI, AKIGUN.

b. Police and Fire Stations.

SECRET

<u>Name of Station</u>	<u>Location of Transfer or Air Defense Headquarters</u>	<u>Remarks</u>
East Police Sta.	GEHYOMACHI (Location unchanged)	
West Police Sta.	HIROSHIMA Credit Assoc. at #3 CHO, YOKOGAWAMACHI	Branch Offices were temporarily located in the Dept. of Commerce and Trade and HON-KAWA Grammar School to manage damage repair but these are now closed.
UJINA Police Sta.	UJINAMACHI (Location Unchanged)	
East Fire Sta.	In the former branch factory of NIPPON Steel Co., in NISHI-KANIYAMACHI.	
West Fire Sta.	Made temporary station in tent set up in ruins at #8 CHO, OTEMACHI within the city.	

XIII PREFECTURAL OFFICE, POLICE DEPARTMENT, AND FIRE DEPARTMENT PERSONNEL

LOSSES.

1. Number of Police and Fire Department Personnel Dead, Injured, or Missing. (Given in Appendix #3).

2. Number of Prefectural Office Personnel and Number of dead, Injured or Missing.

Total number of Prefectural Office Personnel	1,107
Dead	57
Injured	267
Missing	529
Remarks	254 Alive and Well

3. Status of Losses among Families and Homes of Police and Fire Department Personnel.

Investigation of losses of families affiliated with police and fire departments.

SECRET

Family Personnel Losses

<u>Dead</u>	<u>Severely Injured</u>	<u>Slightly Injured</u>	<u>Missing</u>
36	54	77	41

Destruction of Homes

<u>Totally burned</u>	<u>Half burned</u>	<u>Totally destroyed</u>	<u>Half destroyed</u>	<u>Damaged</u>
132		58	78	7

XIV MISCELLANEOUS

Because of the exceedingly large loss of life and material resulting from this air attack, no activity on the part of local civilian defence corps, auxiliary protective groups, etc. was observed. The HIROSHIMA City Hall, as a consequence, more than ever became the heart of relief and restoration operations. However, it was not able to function since, out of a total of 1200 employees, only 80 mobilized for work because of the very large number of dead and injured. Therefore, prefectural and military organizations now have direct control.

SECRET

SECRET

PROCLAMATION

It is evident that this disaster was part of enemy strategy by which they plan to crush the fighting spirit of the people of our country by means of inhumanly cruel air attacks.

People of HIROSHIMA Prefecture: although damage is great we must remember that this is war. We must feel absolutely no fear. Already plans are steadily being drawn up for relief and restoration measures. The military is furnishing all-out assistance. Return to your places of business immediately. We must not rest a single day in our war effort.

All military personnel must also exhibit a warm friendship for battle and encourage and treat with consideration the victims, thereby seeking to effect the people's immediate return to the line of battle.

This disaster has been a great misfortune and has resulted in a large number of deaths. We feel grief from deep within our hearts. While praying for happiness of our dead in a future world, we must bear firmly in mind that the annihilation of the stubborn enemy is our road to revenge. I am confident that with persistence ours will be the eventual victory, but we must subjugate all difficulties and pain and go forward to battle for our Emperor.

7 August 1945

TAKANO, GENSHIN

Governor
HIROSHIMA Prefecture.

SECRET

PROCLAMATION

It is evident that this disaster was part of enemy strategy by which they plan to crush the fighting spirit of the people of our country by means of inhumanly cruel air attacks.

People of HIROSHIMA Prefecture: although damage is great we must remember that this is war. We must feel absolutely no fear. Already plans are steadily being drawn up for relief and restoration measures. The military is furnishing all-out assistance. Return to your places of business immediately. We must not rest a single day in our war effort.

All military personnel must also exhibit a warm friendship for battle and encourage and treat with consideration the victims, thereby seeking to effect the people's immediate return to the line of battle.

This disaster has been a great misfortune and has resulted in a large number of deaths. We feel grief from deep within our hearts. While praying for happiness of our dead in a future world, we must bear firmly in mind that the annihilation of the stubborn enemy is our road to revenge. I am confident that with persistence ours will be the eventual victory, but we must subjugate all difficulties and pain and go forward to battle for our Emperor.

7 August 1945

TAKANO, GENSHIN

Governor
HIROSHIMA Prefecture.

SECRET

APPENDIX # 1

ACTIVITY OF FIRST AID SQUADS

(As of 18 August)

<u>Date</u>	<u>First Aid Squads</u>	<u>Doctors</u>	<u>Dentists</u>	<u>Herb Doctors</u>	<u>Nurses</u>	<u>Total</u>	<u>Remarks</u>
	HIROSHIMA City first aid squads	59	49	20	84	212	--
6 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	13	2	6	16	37	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	--	--	--	--	--	--
7 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	83	11	15	139	248	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	10	--	1	23	34	--
8 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	98	25	20	158	299	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	31	2	2	68	103	--
9 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	102	23	23	157	305	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	40	6	6	73	125	--
10 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	102	19	25	161	307	--

SECRET

SECRET

APPENDIX # 1 (cont.)

<u>Date</u>	<u>First Aid Squad</u>	<u>Doctors</u>	<u>Dentists</u>	<u>Herb Doctors</u>	<u>Nurses</u>	<u>Total</u>	<u>Remarks</u>
	First Aid Squads from outside the Prefecture	39	6	6	73	124	--
11 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	115	20	15	183	333	--
	First Aid Squad from outside the Prefecture	41	7	8	77	133	--
12 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	103	22	19	156	300	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	41	7	8	78	134	--
13 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	98	25	21	182	326	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	25	5	3	69	102	--
14 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	99	27	25	172	323	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	23	5	3	69	100	--
15 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	96	25	24	185	330	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	28	5	4	80	117	--

SECRET

SECRET

APPENDIX # 1 (cont.)

<u>Date</u>	<u>Name of First Aid Squad</u>	<u>Doctors</u>	<u>Dentists</u>	<u>Herb Doctors</u>	<u>Nurses</u>	<u>Total</u>	<u>Remarks</u>
16 Aug.	First Aid Squad from within the Prefecture	83	28	25	159	295	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	24	7	10	82	123	--
17 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	87	24	23	160	294	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	29	7	11	95	142	--
18 Aug.	First Aid Squads from within the Prefecture	92	23	25	167	307	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	29	7	11	95	142	--
TOTAL	First Aid Squads from within the Prefecture	1,171	274	266	1,993	3,704	--
	First Aid Squads from within the City	354	294	120	504	1,272	--
	First Aid Squads from outside the Prefecture	360	64	73	882	1,379	--

NOTE: First Aid Squads from outside the Prefecture were despatched from YAMAGUCHI, SHIMANE TOTTORI, OKAYAMA, and HYOGO Prefectures.

SECRET

SECRET

APPENDIX # 2

<u>NAME OF STATION</u>	<u>TOTALLY BURNED</u>	<u>HALF BURNED</u>	<u>TOTALLY DESTROYED</u>	<u>PARTIALLY DESTROYED</u>	<u>TOTAL</u>	<u>NUMBER AT PRESENT OPERATIONAL</u>
East Fire Station	10	3	-	2	15	6
West Fire Station	18	-	2	5	25	7
Fire Fighting Training Station	1	-	-	-	1	-
TOTAL	29	3	2	7	41	13

SECRET

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 1

LOSSES AMONG EMPLOYEES OF THE POLICE DEPARTMENT

NAME OF DEPT.		POLICE SUPERINTENDENTS	POLICE INSPECTORS	ASST. POLICE INSPECTORS	POLICE SEREANTS	POLICEMEN	OTHER EMPLOYEES	TOTAL
Police Affairs Bureau								
	Dead	-	-	1	1	-	2	4
	Severely injured	-	1	2	1	1	6	11
	Slightly injured	-	2	-	2	-	9	13
	Missing	1	-	-	1	-	21	23
Intelligence Bureau								
	Dead	-	1	-	-	-	-	1
	Severely injured	-	-	-	1	-	-	1
	Slightly injured	-	-	-	-	-	3	3
	Missing	-	-	-	-	-	-	-
Special Services Bureau								
	Dead	-	2	1	1	-	1	5
	Severely injured	-	-	4	-	-	-	4
	Slightly injured	1	1	1	4	-	3	10
	Missing	-	-	-	-	2	-	2
Finance and Peace Maintenance Bureau								
	Dead	-	1	3	1	-	1	6
	Severely injured	1	-	2	-	-	-	3
	Slightly injured	-	3	1	1	-	3	8
	Missing	-	-	-	3	1	-	4

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 1 (cont.)

NAME OF DEPT.		POLICE SUPERINTENDENTS	POLICE INSPECTORS	ASST. POLICE INSPECTORS	POLICE SERGEANTS	POLICEMEN	OTHER EMPLOYEES	TOTAL
Criminal Bureau	Dead	-	-	-	-	-	-	-
	Severely injured	-	-	-	2	1	-	3
	Slightly injured	-	-	2	-	-	1	3
	Missing	-	-	-	1	-	1	2
Transportation Bureau	Dead	-	-	1	3	-	1	5
	Severely injured	-	1	1	4	1	1	8
	Slightly injured	1	2	2	2	-	2	9
	Missing	-	-	-	4	-	3	7
Labor Control Bureau	Dead	-	-	-	-	-	3	3
	Severely injured	1	-	-	-	-	4	5
	Slightly injured	-	-	-	-	-	2	2
	Missing	-	3	4	6	-	18	31
Civilian Defense Bureau	Dead	1	1	1	-	-	2	5
	Severely injured	-	-	-	4	-	-	4
	Slightly injured	-	1	1	1	1	4	8
	Missing	-	-	1	-	-	-	1

SECRET

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 1 (cont.)

NAME OF DEPT.		POLICE SUPERINTENDANTS	POLICE INSPECTORS	ASST. POLICE INSPECTORS	POLICE SERGEANTS	POLICEMEN	OTHER EMPLOYEES	TOTAL
East Police Station	Dead	-	-	-	1	1	1	3
	Severely Injured	-	1	3	2	7	-	13
	Slightly injured	1	-	1	8	6	4	20
	Missing	-	-	-	-	6	1	7
West Police Station	Dead	1	1	4	12	17	-	35
	Severely injured	-	-	-	4	4	-	8
	Slightly injured	-	-	-	-	3	-	3
	Missing	-	-	-	-	-	15	15
UJINA Police Station	Dead	-	-	-	-	-	-	-
	Severely injured	-	-	-	1	4	-	5
	Slightly injured	1	-	-	3	10	-	14
	Missing	-	-	-	-	2	-	2
Police Training Station	Dead	-	1	1	-	2	-	4
	Severely injured	-	-	1	2	44	-	48
	Slightly injured	-	1	2	3	136	-	142
	Missing	-	-	4	5	55	3	67

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 1 (cont.)

NAME OF DEPT.		POLICE SUPERINTENDENT	POLICE INSPECTORS	ASST. POLICE INSPECTORS	POLICE SERGEANTS	POLICEMEN	OTHER EMPLOYEES	TOTAL
Guard Units	Dead	-	-	-	-	2	-	2
	Severely injured	-	1	1	3	16	1	22
	Slightly injured	-	-	-	-	64	4	68
	Missing	-	-	-	1	7	-	8
GRAND TOTAL	Dead	2	7	12	19	22	11	73
	Severely injured	2	4	14	24	78	13	135
	Slightly injured	4	10	10	24	220	35	303
	Missing	1	3	9	21	73	62	169

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 2
LOSSES AMONG GOVERNMENT OFFICIALS

NAME OF DEPT.		LOCAL OFFICIALS TECHNICAL EXPERTS	INFERIORS (Including Deputy Asst. Police)	Employees not on Regular Staff, Etc.	TOTAL
National	Dead	-	2	-	2
Mobilization Bureau	Seriously injured	1	1	1	3
	Slightly injured	1	2	4	7
	Missing	2	4	7	13
HIROSHIMA	Dead	-	2	3	5
National	Seriously injured	1	7	5	13
Labor Mobilization Bureau	Slightly injured	-	4	6	10
	Missing	-	3	3	8
Total	Dead	-	4	3	7
	Seriously injured	2	8	6	16
	Slightly injured	1	6	10	17
	Missing	2	7	12	21

SECRET

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 3

LOSSES AMONG FIRE DEPARTMENT EMPLOYEES

			East Fire Station	West Fire Station	Fire Fighting Training Station	Total
Victims	Dead	Chief Fireman	1	1	-	2
		Assistant Chiefs	2	1	-	3
		Sergeants	3	5	-	8
		Firemen	9	14	3	26
		Total	15	21	3	39
	Unknown	Chief Firemen	-	-	-	-
		Assistant Chiefs	-	-	1	1
		Sergeants	-	2	1	3
		Firemen	19	25	16	60
		Total	19	27	18	64
	Severely injured	Chief Firemen	1	1	-	2
		Assistant Chiefs	1	2	-	3
		Sergeants	6	4	1	11
		Firemen	12	17	3	32
		Total	20	24	4	48
	Slightly injured	Chief Firemen	-	-	-	-
		Assistant Chiefs	-	2	-	2
		Sergeants	5	12	-	17
		Firemen	35	45	-	80
		Total	40	59	-	99
	Total	Chief Firemen	2	2	-	4
		Assistant Chiefs	3	5	1	9
		Sergeants	14	23	2	39
		Firemen	75	101	22	198
		Total	94	131	25	250

SECRET

APPENDIX # 3 - Part 3 (cont.)

		East Fire Station	West Fire Station	Fire Fighting Training Section	Total
Alive and Well	Chief Firemen	-	-	-	-
	Assistant Chiefs	-	4	-	4
	Sergeants	4	4	-	8
	Firemen	50	64	-	114
	Total	54	72	-	126

SECRET

SECRET

APPENDIX # 4

PERSONNEL LOSSES RESULTING FROM AIR ATTACK ON HIROSHIMA (as of 25 August 1945)

		Dead	Missing	Seriously Injured	Slightly Injured	General Victim	Remarks
East	Men	2,704	2,507	1,740	5,152	42,779	
	Women	3,139	3,806	2,132	5,874	57,989	
	Unknown						
	Total	5,843	5,313	3,872	11,026	100,768	
UJIMA	Men	1,098	326	632	3,010	10,750	
	Women	1,068	418	807	3,262	11,582	
	Unknown	12					
	Total	2,178	744	1,439	6,272	22,332	
WEST	Men	12,334	4,106	2,668	4,638	31,534	
	Women	13,423	4,282	2,864	5,116	37,195	
	Unknown	3,755					
	Total	29,512	8,388	5,532	9,754	68,729	
KURE	Men	55	12	60	149	238	
	Women	28	14	72	176	317	
	Unknown						
	Total	83	26	132	325	555	
ETAJIMA	Men	244	98	106	189	813	
	Women	240	97	92	251	1,118	
	Unknown	1					
	Total	485	195	198	440	1,931	
KAITAICHI	Men	449	166	731	537	3,385	
	Women	442	160	600	409	3,075	
	Unknown						
	Total	891	326	1,331	946	6,460	

SECRET

SECRET

APPENDIX # 4 (cont.)

		DEAD	MISSING	SERIOUSLY INJURED	SLIGHTLY INJURED	GENERAL VICTIMS	REMARKS
HATSUKAICHI	Men	973	219	645	1,550	355	1,142 persons were mobilized on that day as National Volunteer Units.
	Women	870	242	630	1,587	4,165	
	Unknown						
	Total	1,843	461	1,275	3,137	4,520	
OTAKE	Men	200	70	153	292	3	905 persons were mobilized in Hiroshima on that day as National Volunteer Units.
	Women	88	46	206	248	3	
	Unknown						
	Total	288	116	359	540	6	
TAKEHARA	Men	45	5	28	69	215	
	Women	28	2	10	71	219	
	Unknown						
	Total	73	7	38	140	434	
HIRO	Men	41	22	65	104	526	
	Women	30	5	50	138	485	
	Unknown						
	Total	71	27	115	242	1,011	
SAIJO	Men	141	56	203	380	637	
	Women	134	30	144	335	756	
	Unknown	2					
	Missing	277	86	347	715	1,393	
TADANOUMI	Men	39	11	50	96	211	
	Women	24	7	26	54	322	
	Unknown						
	Total	63	18	76	150	533	
KOCHI	Men	94	117	61	150	381	
	Women	29	11	51	150	433	
	Unknown						
	Total	123	128	112	300	814	

SECRET

APPENDIX # 4 (cont.)

		Dead	Missing	SERIOUSLY INJURED	SLIGHTLY INJURED	GENERAL VICTIM	REMARKS
KINOE	Men	36	6	39	119	103	
	Women	32	3	43	113	110	
	Unknown						
	Total	68	9	82	232	213	
KABE	Men	1,494	458	1,416	2,914	5,992	2,268 persons were mobilized in Hiroshima on that day as National Volunteer Units
	Women	1,044	354	1,161	2,600	6,664	
	Unknown						
	Total	2,538	812	2,577	5,514	12,656	
YOSHIDA	Men	368	69	434	944	1,957	
	Women	161	49	402	986	2,274	
	Unknown						
	Total	529	118	836	1,930	4,231	
KAKE	Men	137	211	212	612	1,757	
	Women	133	212	191	649	1,835	
	Unknown						
	Total	270	423	403	1,261	3,592	
ONOMICHI	Men	48	12	35	79	185	
	Women	20	6	14	51	211	
	Unknown						
	Total	68	18	49	130	396	
INNOSHIMA	Men	15	5	5	20	77	
	Women	4	2	6	6	51	
	Unknown						
	Total	19	7	11	26	128	
NIHARA	Men	11	12	17	58	68	
	Women	7	-	7	37	65	
	Unknown						
	Total	18	12	24	95	133	

SECRET

SECRET

APPENDIX # 4 (cont.)

		DEAD	MISSING	SERIOUSLY INJURED	SLIGHTLY INJURED	GENERAL VICTIMS	REMARKS
MATSUNAGA	Men	30	4	31	46	185	
	Women	9	1	13	24	194	
	Unknown						
	Total	39	5	44	70	379	
FUKUYAMA	Men	25		26	37	57	
	Women	4		5	25	78	
	Unknown						
	Total	29		31	62	135	
FUCHU	Men	28	7	16	48	260	
	Women	4	6	7	37	155	
	Unknown						
	Total	32	13	23	85	415	
YUKI	Men	119	5	27	35	75	
	Women	20	7	8	20	91	
	Unknown						
	Total	139	12	35	55	166	
SHOBARA	Men	98	44	112	156	637	
	Women	69	26	89	177	737	
	Unknown	1					
	Total	168	70	201	333	1,374	
MIYOSHI	Men	141	56	197	402	838	
	Women	131	66	152	453	1,094	
	Unknown						
	Total	272	122	349	855	1,932	
JOGE	Men	67	30	70	66	128	
	Women	24	17	19	89	142	
	Unknown						
	Total	91	47	89	155	270	

SECRET

SECRET

APPENDIX # 4 (cont.)

		DEAD	MISSING	SERIOUSLY INJURED	SLIGHTLY INJURED	GENERAL VICTIMS	REMARK
KOZAN	Men	101	10	76	95	200	
	Women	71	6	28	92	356	
	Unknown	3					
	Total	175	16	104	187	556	
GRAND TOTAL	Men	21,135	8,644	9,855	21,947	104,346	
	Women	21,276	8,875	9,829	23,030	131,716	
	Unknown	3,774					
	Total	46,185	17,519	19,684	44,977	236,062	

SECRET